



インスピレーションになろう

バリー・ラシンR1会長

# 郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ

**繋ごう未来へ (心に残る 40 周年記念式典をみんなの力で)**

会長：美谷添里恵子 副会長：山下誠 幹事：畑中知昭

**第1914回 平成30年 7月25日(水)**

## 本日の行事 各委員会活動方針発表 ①

2018-19年度

美谷添里恵子会長

幹事報告

畑中知昭幹事

\* ガバナー補佐より 豪雨災害見舞について

地区としては義捐金を取りまとめないので、各クラブで対応

\* 明宝ツーリズムネットワークセンターより 後援のお願い

\* 郡上市教育委員会より 平成30年度郡上市青少年育成市民会議総会 資料

\* 地区事務所より 職業奉仕セミナー駐車場についての案内

\*\*\*\*\*

### 第1913回例会

#### 会長挨拶

2018-19年度 美谷添里恵子会長

皆さんこんにちは。連日の猛暑の中、ようこそ白鳥の地へお越しいただきまして、誠にありがとうございます。木村ガバナー様、間宮地区幹事様、可児ガバナー補佐様には遠路お越し下しまして、また先ほどはご指導をいただきありがとうございました。

私達郡上長良川ロータリークラブは今年で41期を迎えました。昨年9月17日に40周年記念事業を実施致しました。また今年は10月28日に40周年記念式典を実施することになっております。またその折にも八幡クラブの皆さんにも沢山来ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

7月に入りまして、集中豪雨はこの郡上の地においても記録的な雨が降りました。郡上ひるがの、郡上長滝には1000ミリ以上の降水量が記録され、全国的に有名になるくらいの雨が降りました。でもお陰様で今の所、土砂崩れや川の崩壊はありましたが、人的な被害は聞いていません。しかしこのような異常気象は、いつどのような事が起こるか、これからの事が不安になります。また梅雨明けと同時に、急激な39℃と信じられないような暑さが続く毎日ですが、これは地球全体の変化だと思われまます。天災は社会の弱さを示す、天然に反抗する人間の細工ではないかというような意見も言われております。私たちは今後何をしなければいけないか、考えさせられるこの頃です。ロータリーの活動も地球の為に何が出来るか、真剣に考えなくてはいけないのでしよう。

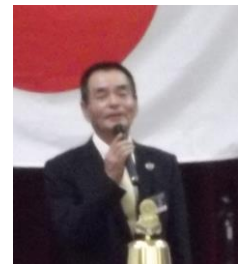
今日は、木村ガバナー様にロータリー活動について、いろいろご指導をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

#### 会長挨拶

郡上八幡ロータリークラブ会長 林健吉様

皆さんこんにちは。先ほど、ガバナー様、間宮幹事様、可児様、先ほどはご指導いただきまして、ありがとうございました。先ほどのご指導をロータリー活動に反映させて頂きたいと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

今日は郡上長良川ロータリークラブの皆さんにお会い出来るのを楽しみにしておりました。また合同例会が出来ますこと、大変うれしく思います。今回ホストクラブとして、会場準備やら色々お世話をかけました。感謝申し上げます。また長良川ロータリークラブさんは40周年記念事業を会員が一丸となって、大成功を収められました。またロータリークラブの名前を大きくPRされました。そのことに敬意を表したいと思います。私達郡上八幡クラブも今期50周年を迎えます。私達もロータリーの名を地区にいかにつけてPR出来るか、事業をして進めていきたいと思っております。今後とも長良川ロータリークラブさんと良い関係を続けながら両クラブのますますの発展と合わせて今日、両クラブの皆さんのご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げます。簡単ではございますが会長の挨拶と致します。ありがとうございました。



皆さんこんにちは。先般の豪雨災害では避難されたかたもおられたそうで、お見舞い申し上げます。郡上八幡クラブは、創立 50 周年で例会出席率の高いことが注目点です。大畑会員が 98 歳でご出席です。郡上長良川クラブは創立 40 周年で女性会員が多いことが注目点です。

1 まず、RI 会長のテーマについてお話しします。“Be The Inspiration” 「インスピレーションになろう」です。バリー・ラシン会長はバハマのかたで、医療機関経営のスペシャリストです。バハマは、米フロリダ半島とキューバの間、カリブ海に浮かぶ島です。テーマロゴはカリブ海の荒波を表しています。「インスピレーションになろう」の意味ですが、日本語で「インスピレーション」は「ひらめき」というような意味で使い、「インスピレーションを得る」という言い方はします。英語の INSPIRE は、「鼓舞する」「意欲を喚起する」という意味があります。そうすると、「インスピレーションになろう」とは、ほかの人たちに対し「インスピレーションを与える」、「何かをやろうという意欲を吹き込む」、「心に火をつける」そういう人になろう、という意味になります。先月逝去された服部芳樹パストガバナーは「燃えよロータリアン」という名訳をされました。



ラシンさんは、前向きな変化を生み出す意欲を、課題に立ち向かう意欲を、クラブからも、地域社会からも、組織全体からも、引き出したい、意欲を引き出すための「インスピレーション」になりたい、あるいはなあってほしいと述べておられます。

2 今年度の、私のガバナーとしてのテーマは、「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」というものです。まず、「理念をかかげ」をテーマにした理由です。世界のロータリーの趨勢が、近年、いささか「奉仕活動のロータリー」に偏っていて、理念が薄くなっている、という意見が特に日本のロータリアンから出ています。

**奉仕活動のロータリー** 増強、財団、寄付、プロジェクト推進を重視する面

**理念のロータリー** 職業奉仕、4つのテスト、例会を重視する面

私は、奉仕プロジェクトを活発に行うことは非常に大切なことだと思っています。ただ、世界のロータリーは、新興国の会員が増えてきたということもあって、「奉仕活動のロータリー」に傾いていると言えます。そのため「ロータリーの多様性」を認めざるを得ない状況で、2016年の規定審議会で大きな改正がなされました。例会は月2回でもよいとされました。当時のRI会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重要だ」と述べました。サンディエゴの国際協議会での私の体験ですが、新興国のガバナーエレクトは名刺と一緒に織物のポーチとか袋とか、名刺代わりの記念にしては立派過ぎるものをプレゼントしてくれました。先進国のロータリーから援助を引き出すことがガバナーの力量であり功績なのです。新興国の会員が増加し、先進国の会員が減少していることから、「奉仕活動のロータリー」に偏っています。そういう状況にあって、私はあえてロータリーの原点である理念を強調しなければならないと思うのです。

まず、職業奉仕の幹の中にある「奉仕の理念」をしっかりとかけろ。「かかげる」とはロータリーのモットー・四つのテスト・ロータリーの目的（綱領）に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるを得ません。

3 そして、大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。理念の浸透を図るのは例会です。

若手会員の皆さんは仮に例会が減ったら「ラッキー」と思うか「残念」と思うか。仕事で忙しい世代は、例会に出る時間を作ることに苦労しているかもしれません。しかし、例会に出れば先輩や友人に会えるし、顔を合わせてこそ信頼関係を育むことができるのです。「例会に出席義務」があるといいますが、義務感から出席するのではなく、楽しいことがあるから出席するというようになっていただきたい。他方、例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。



これに関連して、クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中に「研修リーダー」

を作ることを推奨したい。

4 「会員基盤の強化」が必要です。増強できなければロータリーは衰退します。若い世代や女性会員に入っていただきたい。今や、女性が職業を持つのも社会的な活動をするのも当たり前になっています。そうであれば、ロータリーのメンバー構成もそれに応じて多様になっていなければならない。今世界でロータリーの女性会員は20数%ですが、日本は5~6%。当地区では4.9%（三重県7%・岐阜県3.2%）。これを5年以内に15%以上にしたと提唱されています。多様性（ダイバーシティ）は発展の基礎です。もともとロータリーは多様な職業人からなっています。



増強の現実には、各クラブ1年間で平均1名の増強ができていません。各クラブ1人増えれば地区全体で75人増えるのですが、現実はそのまで行っていません。よく増強セミナーで、増強のためにどうすればよいかという話が出ますが、私は、クラブの中で一人一人の会員を大切にすること、会員が奉仕に対する意欲をもつこと、クラブを魅力あるものにすることであると思います。

5 次に、意欲を喚起するにはどうしたらいいのかということです。ラシン会長は行動力のあるリーダーらしく、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」とか「自らの行動で範を示す」、ということをおられます。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案します。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。ロータリーでは、見返りはお金ではなく感動です。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。意欲を喚起することによってクラブは元気になり、充実した活動に繋がります。

6 次に「共に行動」です。奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。各クラブでアンテナを広げ、地域社会で何か改善すべき点はないか、あるいは世界で必要とされている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクトは、多くのクラブで実行されています。毎年でなくても活用していただきたい。また、「グローバル補助金」は、少し規模の大きい国際的な活動をする場合に使えます。

7 グローバル補助金事業としてひとつご紹介したいと思います。R Iの2016-17年度年次報告に、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業が取り上げられました。これがR Iの年次報告書です。全28頁のなかの1頁を使って紹介されています。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域がありました。地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供し、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進もしています。中津川市はレジストロ市と姉妹都市になっているというご縁だったそうです。グローバル補助金は、6つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件が必要です。現地の人たちが活動に加わるといったことも必須です。外国のクラブと一緒にやってやるため言語など意思疎通が難しいことがあり、失敗例も報告されていますが、地区の委員会（奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会）がサポートしてくれます。

事業は「持続可能性」が求められます。持続可能性（sustainable）という言葉は、最近、国の政策で「持続可能な開発」とか「環境の持続可能性」、企業経営で「企業の持続可能性」、「持続可能なコーヒーの追求（スタバ）」などと、よく使われます。ロータリーでは、「持続可能な変化」をもたらすような援助をすることが大切です。単に物を寄贈するだけではなく、現地の人も加わって、将来的に現地の自助努力でやっていけるように手を貸す、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

8 ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。

9 次に「公共イメージと認知度の向上」についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。なぜ公共イメージ向上が必要か（なぜ広報宣伝しなければならないか）というと、「いいこと」をしても知られなければ広がりがいいからです。公共イメージが向上することによって、世間から注目され、人が集まるようになり、我々の励みになります。方法として、奉仕活動の機会をとらえて、視覚的に伝えるのが効果的です。チラシ・パンフレット・写真・インターネット・ロータリーロゴの入った看板・横断幕などです。その際、ロータリーの理念である「4つのテスト」や「ポリオ撲滅まであと少し」も伝えたい。

10 “PEOPLE OF ACTION” 「世界を変える行動人」はR Iのキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真を掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。こ

のロゴはマイロータリーからダウンロードできます。チラシなどに使ってみてはいかがでしょうか。  
11 ロータリー賞、RI会長特別賞を目指してください。昨年まではRI会長賞」といっていました。3つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつか並んで選択するようになっていきました。それほどハードルは高くないので達成可能です。目標に挑戦することによって意欲を喚起することができます。

12 ポリオ撲滅の問題があります。30年前の毎年推定35万人が、いまご覧のようになっています。3年間続けて0になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとバングラディシュで6月までに11件発症が確認されています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ることと思います。引き続き寄付のご協力をお願いします。

13 もうひとつは、環境の持続可能性を守ることです。地球温暖化問題等、ロータリーも取り組むことができます。

14 日本のロータリー100周年についてお話しします。日本のロータリーは1920年に東京で創設されました。このたび、「日本のロータリー100周年実行委員会」から、各地区に、記念の鐘（ゴング）が贈呈され、ガバナー公式訪問の際に点鐘してほしいということです。台座に2630地区全クラブの名前が創立順に刻まれています。

15 米山梅吉記念館についてお話しします。静岡県にあります。これも創立50年になります。募金を呼びかけています。米山奨学金の寄付とともによろしくをお願いします。また、記念館を一度見に行っていたきたい。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 地区大会について

## 第2630地地区代表幹事 間宮久人様

皆さんこんにちは。期が始まり早々に皆さんの前でお話をさせていただく事が出来まして、誠に有難うございます。今日は地区大会のPRの時間をいただきました。先日8日に企画会議があり、来る10月13、14日にかけて、岐阜長良川国際会議場をメイン会場としまして2日間に亘りまして、予定させていただいております。是非とも皆様にお一人でも多くの登録をお願いする次第であります。ここ最近マンネリでもあり、懇談会の時にもご意見をいただきました。地区大会は表彰や関係者の発表、会議としてしなければいけないことが1日目にございます。日曜日はある程度お祭りの要素があると思います。出来るだけ皆さんの注目を浴びるゲストをお呼びしようと思っております。近年登録していただける方が少なくなり、大会費用が捻出できなくなってきております。一昨年は1500人まで行きませんでした。昨年は1600名でした。今年の目標は1600名を目指しています。50%登録を高山の地区大会で採決されました。各クラブにお願いして特に新会員には地区大会を経験していただきたいと思っております。私が入会した頃は新会員は義務でありましたが、いつの間にかなくなりました。今回の記念講演はアグネス・チャンをお願いしました。彼女はユニセフや色々各地で講演等の活躍をされております。2日間の出席をお願いしたいと思っております。一般会員の方は日曜日に参加をお願いしたいと思います。観光等も整備されておりますので、是非登録をお願い致します。



## ニコBOX

## ニコBOX委員会 井俣愛美君

ガバナー 木村様 地区代表幹事 間宮様

郡上八幡RC 大畑様 私もいよいよ人生の大台に近づきました。今少し頑張ってみたいと思っておりますので、今年も皆様の友情に感謝しながら、よろしくお願い致します。

美谷添里恵子君 木村ガバナー様、間宮地区幹事様、可児ガバナー補佐様、遠路ありがとうございます。本日はよろしく申し上げます。

同文 大村君、寺田澄男君、藤代君、三島昭君、美谷添生君、和田君、羽土君、岩谷君、山下君、石徹白君、原君、畑中君、松森君、島崎君、佐藤君、山口君、旭君、麥島君、井俣君、清水君  
(本日26,000円 累計88,000円)

## 次回例会予定

7月29日 合同研修セミナー

8月6日 東海北陸道G幹事会

8月1日 各委員会活動方針②

8月8日 物故者法要と納涼例会

## 出席報告

出席委員会 山口里美君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率
第1912回	33名	25名	8名		75.76%
第1913回	33名	22名	11名		66.67%